

中華人民共和国

山西省との 交流の概要

<昭和57年（1982年）10月27日友好提携>



埼玉県マスコット「コバトン」
(姉妹友好州省・山西省バージョン)

彩の国  埼玉県

目 次

	ページ
1 山西省の概要	1
2 山西省との交流のあゆみ	6
3 山西省との主な交流事業	11
4 その他過去に実施した交流事業	16
5 山西省との近年の交流事業実施状況	18
6 関係機関一覧	20

山西省の概要

1 位置

山西省は黄河中流の黄土高原に位置する内陸省で、西は晋陝峡谷を流れる黄河を境に陝西省と接し、南は一部に東へ流れる黄河を挟んで河南省に接します。

また、北は万里の長城を挟んで内モンゴル自治区、東は一部に太行山脈を挟んで河北省と接しています。（北緯34度34分～40度43分、東経110度14分～114度33分）

2 面積

156,700km²（埼玉県3797.75km²の約41倍）

3 人口

34,659,900人（2023年）

（埼玉県人口 7,327,297千人（2024年2月）の約 4.7 倍）

4 省都

太原市（人口 5,435,011人[2022年]）

5 地勢

太行山脈、呂梁山脈などの山地・丘陵地が約80%で、隆起地形を呈しています。

海拔は平均約800mで、中国四大仏教名山の一つでもある五台山は海拔3,058mあり、河北地方の最高峰です。

(1) 黄土

山西省の西部は中国黄土高原の一部で、大部分の地域は10～30mの厚い黄土が堆積しています。

(2) 黄河

西側の陝西省との省境を南に向かって流れ、南西部で東に向かい、しばらくは河南省との省境を形成して河南省の北部へ流れます。臨汾市の壺口瀑布は観光スポットとして有名です。

(3) 汾河

山西省のほぼ中央を黄河第二の支流・汾河が流れます。汾河流域は古代遺跡の宝庫です。

6 気候

山西省には四季があり、昼夜の寒暖の差が大きい気候です。夏の平均気温は26度以下となっています。年降水量は約500mmです。

7 歴史

山西省は、中華民族・黄河文明の発祥の地の一つで、昔の「中原」と呼ばれる地域の

ひとつです。伝説上の聖王とされる堯、舜、中国最古の王朝といわれる夏王朝（夏王朝の実在は現在のところ確認されていません。）を開いたとされる禹の3人は、みな山西省南部に都を築いたといわれます。紀元前770～476年の春秋時代、山西省は「晋国」と呼ばれたため、山西省の略称を「晋」といいます。

五胡十六国・南北朝時代、北魏（西暦386～534年）の首都は、平城（現・大同市）にあり（386～494年の間。494年洛陽に遷都）、この時期に平城（現・大同市）西方に、世界遺産に登録されている雲崗の石窟が造られました。

7世紀、唐高祖の李淵は太原で兵を挙げ、長安に唐（618～907年）をたてました。

また、明（1368～1644年）の初期、太原では商業が発達し、中国一の商都として繁栄しました。明の時期に築城され、世界遺産に登録されている平遥では、清中期に票号と呼ばれる金融為替業が成立し、最も古く創業した日昇昌票号は最盛期には中国全土及び日本などに支店を持つなど20世紀初頭まで繁栄していました。

正式に省となったのは清（1644～1911年）の時代で、太行山の西方にあることが山西の由来とされています。

8 政治

国民の選挙によって議員が選出される省人民代表大会は省長や全国人民代表大会の代表者を選出します。共産党は省人民代表大会に指導を行い、省長が行政を担います。

- (1) 省政府 : 省長
金 湘軍 氏 (2023年1月～)
- (2) 党 : 中国共産党山西省委員会書記
唐 登傑 氏 (2023年10月～)
- (3) 省人民代表大会 : 人民代表大会常務委員会主任
唐 登傑 氏 (2024年1月～)

9 行政区

山西省には、11の省直轄の市（太原、大同、陽泉、長治、晋城、朔州、忻州、晋中、臨汾、運城、呂梁）があり、その下部行政区としてさらに117の県（市・区）があります。

10 経済

省内総生産 2兆5698.18億元（約53兆9,404億円）（2023年）
1人当たりGDP 73,984元（約155万円）（2023年）
※レートは1元≒20.99円（2024年3月現在）で計算

（参考）埼玉県（2021年度）

県内総生産（名目） 23兆7,336億円
1人当たり県民所得 304万9千円

11 産業

山西省は中国における重要な新エネルギー及び工業の重要な基地です。

省内は鉱物資源に恵まれており、その種類は豊富で、広範囲に分布しています。特にボーキサイト、耐火粘土、マグネシウム鉱の埋蔵量は中国国内で最も多くなっています。また、石炭の生産能力は中国全体の57%を占めており、山西省は「石炭の里」と称されています。大同、寧武、西山、霍西、沁水、河東が6大炭田です。

新エネルギー発電も盛んであり、新エネルギー発電設備の割合は山西省内の発電設備全体の30%以上を占めています。加えて、高性能機器の製造や新世代の情報技術、新エネルギーを使った乗り物など、戦略的な新興産業が急成長しています。

12 特産品

- (1) 汾酒：高粱が原料の無色透明の度数の高い酒です。
中国八大銘酒の一つで、杏花村地区の汾酒が有名です。
- (2) 酢：中国四大酢の一つである山西老陳酢（黒酢の一種）が有名です。
山西省はアルカリ性の土壌が広く分布しているため、体がアルカリ性になりやすく、それを防ぐために食事の時にこの老陳酢をつけます。
- (3) 麺：山西省は、麺のふるさとです。麺の種類は百数十種類に上りますが、特に有名なのは「刀削麺」です。小麦粉の生地を固まりを、包丁で柳の葉のような形に削りながら、煮立った鍋の中へ飛ばして入れます。ゆで上がった麺は、たれをかけたたり、煮たり炒めたりして食べます。

13 歴史遺産・名所

- (1) 歴史遺産
現存する古代建築物の数は中国一です。雲崗石窟（大同市、中国三大石窟の一つで約1,500年の歴史を有す。53の洞窟に51,000余体の石像がある）や平遥古城（晋中市平遥県、明代に築かれた城壁や明・清代の街並み）、五台山（忻州市五台県、中国四大仏教名山の一つ）はユネスコの世界文化遺産に登録され、優れて普遍的価値を持つ文化遺産であると世界にも認められています。
ほかにも、晋祠（太原市、侍女塑像、臥龍周柏、難老泉などが有名）、応県木塔（朔州市応県、1056年創建、現存する中国最古かつ最高（高さ67.31m）の木塔）、懸空寺（大同市、1,500年前に断崖絶壁に張り付くように建立された木造仏教建築）など多数の歴史遺産があります。
- (2) 観光名所
黄河が滝になって落ちる「壺口瀑布（臨汾市吉県の西部）」が有名です。高さ30m、幅は50mあり、黄色瀑布としては世界最大といわれ、毎年6～7月には黄河瀑布の川下りが行われます。

14 友好都市

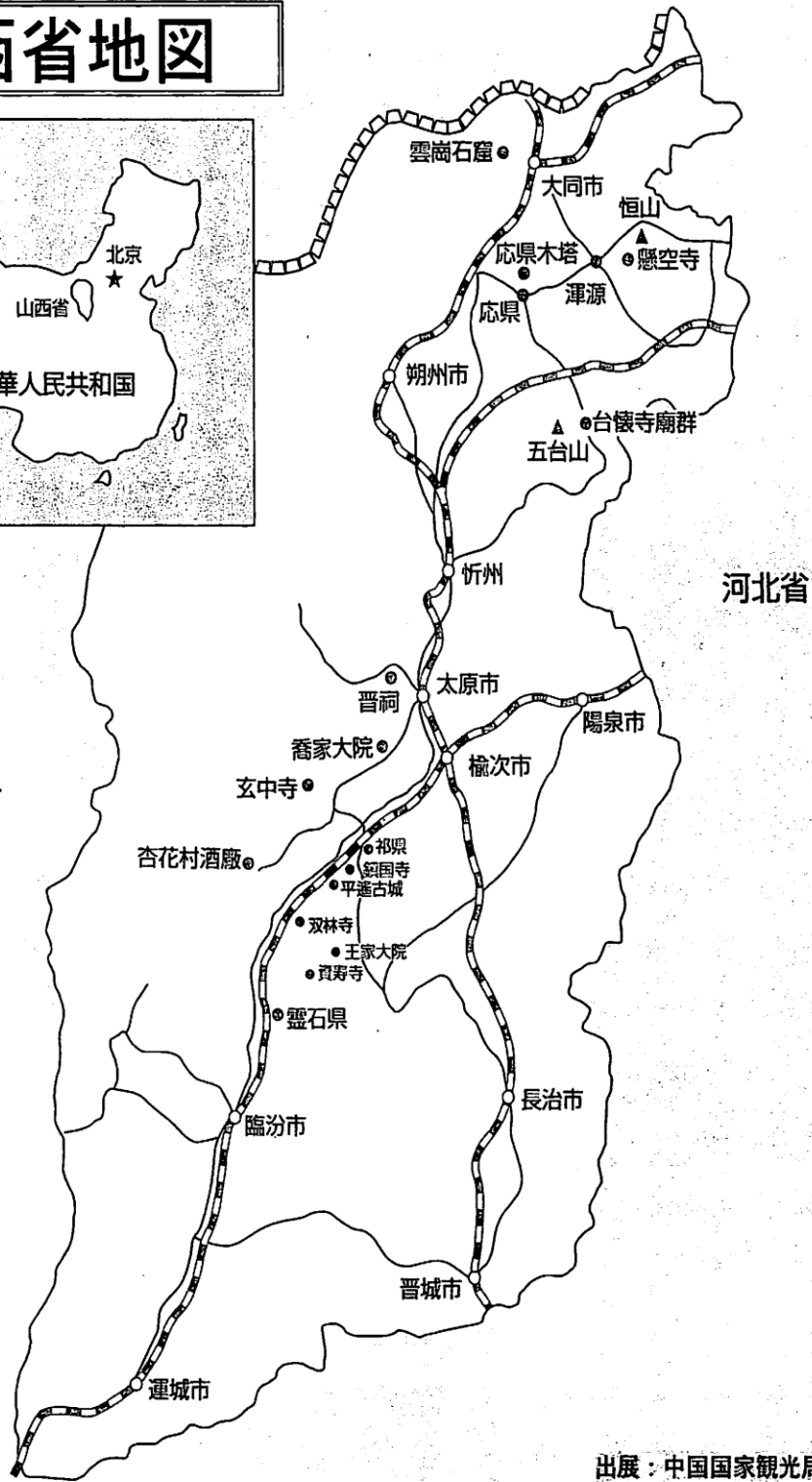
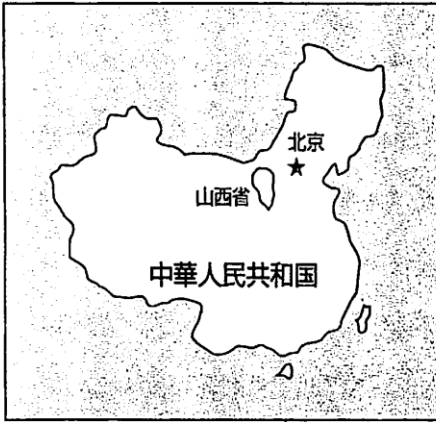
(1) 山西省と日本の自治体との友好都市

自治体名	提携先	提携年月日
埼玉県	山西省	1982(昭和57)年10月27日
埼玉県秩父市	山西省臨汾市	1988(昭和63)年10月7日
福岡県大牟田市	山西省大同市	1981(昭和56)年10月16日
兵庫県姫路市	山西省太原市	1987(昭和62)年5月20日

(2) 中国と埼玉県内市町村との友好都市（上記以外）

	市町村名	提携先	提携年月日
1	さいたま市	河南省鄭州市	1981(昭和56)年10月12日
2	所沢市	江蘇省常州市	1992(平成4)年4月20日
3	狭山市	浙江省杭州市	1996(平成8)年7月8日
4	深谷市	北京市順義区	1995(平成7)年11月7日
5	草加市	河南省安陽市	1998(平成10)年11月1日
6	戸田市	河南省開封市	1984(昭和59)年8月21日
7	入間市	浙江省寧波市奉化区	2000(平成12)年5月16日
8	新座市	河南省濟源市	2002(平成14)年5月16日
9	上尾市	浙江省杭州市	2004(平成16)年3月26日

山西省地图



出展：中国国家観光局

山西省との交流のあゆみ

- 1978（昭和53）年11月 「日中友好埼玉県青年の翼」訪中団が山西省太原市を訪問した。
- 1979（昭和54）年9月 埼玉県日本中国友好協会会長が訪中した際、山西省の要人から、本県と友好関係を結びたいという呼びかけがあった。
- 1982（昭和57）年10月 「日本国埼玉県・中華人民共和国山西省友好県省締結に関する協定書」を締結した。（羅貴波^{らきは} 山西省省長来県時、10月27日）
- 1983（昭和58）年度 友好締結1周年記念事業としてオシドリとシラコバトを交換した。
双方の地で物産観光展を開催した。
- 1984（昭和59）年度 埼玉県民舞踊団（43名）が山西省を訪問、親善公演を行った。
高校生のスポーツ交流を行った。（～1997年度）
県立がんセンター、県立小児医療センター、県立衛生研究所等で山西省からの医療研修生の受入れを開始した。（継続中）
- 1984（昭和59）年10月^{はく} 白山西省副省長が来県した。（1985-87合意書調印）
- 1985（昭和60）年度 県農業大学校、県農業試験場、県畜産試験場、県養鶏試験場で山西省からの農業研修員の受入れを開始した。（～1999年度）
山西省へ日本語教員の派遣を開始した。（～1992年度）
- 1986（昭和61）年度 経済協力促進共同委員会（SASEC）を設立し、経済協力促進共同委員会を毎年、相互に開催した。（1987～1997年度）
北京女性会議に合わせ、女性友好交流団を相互派遣した。（～1995年度）
農業技術指導員の派遣を開始した。（～1996年度）
- 1987（昭和62）年度 友好締結5周年記念事業として双方の地で記念式典を開催した。
埼玉県立博物館で山西省文物展を開催した。
- 1987（昭和62）年10月^{かく} 郭 山西省副省長が来県した。（5周年記念式典）
- 1988（昭和63）年度 職員の相互派遣を開始した。（～1993年度）
県立高校生を山西省に派遣する「高校生海外セミナー」を開催した。（～1996年度）
- 1990（平成2）年度 山西省からの産業技術研修生の受入れを開始した。（～1993年度）
山西省への農業専門家の派遣を開始した。（～1996年度）
埼玉県青年洋上大学を山西省に派遣した。（～1993年度）
- 1990（平成2）年10月^り 李 山西省人民政府秘書長が来県した。（1991-93合意書調印）
- 1991（平成3）年度 山西省青年雑技芸術団（18名）が来県し、「さいたま国際フレンドシップ芸能音楽祭」で公演を行った。
- 1992（平成4）年度 山西省に環境保全技術協力団を派遣した。（～1996年度）
- 1992（平成4）年5月^{おうしんこう} 王森洪 山西省省長が来県した。
友好締結10周年記念事業として埼玉県山西省友好記念館（愛称：神怡館^{しんいかん}）

- 神村)) の開館式・記念式典・祝賀会を開催した。
- 県立浦和図書館で中国山西版画展を開催した。
- 1992 (平成4) 年10月 知事が山西省を訪問した。
- 山西省太原市で10周年記念式典が開催され、埼玉県からは250人が出席したほか、埼玉県山西省文化交流使節団 (32名) が現代舞踏公演などの各種交流事業を行った。
- 1993 (平成5) 年4月 おうもりん 王茂林 中国共産党山西省委員会書記が来県した。
- 1993 (平成5) 年5月 うんぼうひんかんでいいんきやくぼう 川越の蔵造りをイメージした和風宿泊施設「雲峰賓館 庭院 客房」が山西省五台山にオープンした。
- 1994 (平成6) 年度 山西省に生産管理診断・指導員を派遣した。(～2005年度)
- 公害センター、下水道事務所で山西省から環境保全技術研修生を受け入れた。(～1999年度)
- 山西省文化交流使節団が来県し、県内3会場で親善公演を行った。
- 1994 (平成6) 年9月 りりつこう 李立功 山西省對外友好協会顧問(元 党山西省委員会書記) が来県した。
- 1996 (平成8) 年3月 こふこく 胡富国 中国共産党山西省委員会書記(元山西省省長) が来県した。埼玉県山西省友好記念館(神怡館)に、山西省から応県木塔の模型が寄贈された。
- 埼玉県山西省文化交流使節団(ジャズダンス、29名) が山西省を訪問し、
- 1996 (平成8) 年度 親善公演及び省内文化関係者との交流事業を行った。
- りゅうしんか 劉振華 山西省常務副省長が来県した。(1997-99合意書調印)
- 1997 (平成9) 年1月 山西省文化交流使節団(書道家と美術家18名) が来県し、埼玉会館で展示会を開催した。
- 1997 (平成9) 年度 埼玉県山西省文化交流使節団(いけばな・茶道、18名) が山西省を訪問し展示会等を開催した。
- 1999 (平成11) 年度 せつえいてつ 薛榮哲 山西省副省長が来県した。(2000-02合意書調印)
- 2000 (平成12) 年3月 県農林総合研究センターで山西省から研修生を受け入れた。
- 2000 (平成12) 年度 土壌専門家を山西省に派遣した。(JICAアルカリ土壌改良現地実証調査事業・～2002年度)
- 環境科学国際センターで環境保全技術研修員を受け入れた。
- 山西省子ども舞踊団(23名) が来県し、公演を行った。
- 2001 (平成13) 年6月 はんついそう 範堆相 山西省副省長(農業代表団団長) が来県した。
- 2001 (平成13) 年9月 おうきん 王昕 山西省副省長(医療代表団団長) が来県した。
- 2002 (平成14) 年3月 第1回埼玉県国際ジュニアサッカー大会を開催し、山西省から小学生チームを受け入れた。(～2004年度)
- 4月10日～6月30日 ワールドカップサッカー大会の開始を記念し、「わくわくサッカー絵画展」を開催した(於：伊勢丹浦和店)

- 2002（平成14）年5月 せつえいてつ 薛榮哲 山西省副省長が来県し、観光説明会等を行った。
- 2002（平成14）年10月 りゅうしんか 知事が山西省を訪問し、劉振華省長との間で「埼玉県と山西省の交流・協力に関する覚書」の署名、交換を行った。
山西省太原市で20周年記念式典が開催され埼玉県からは230人が出席し、埼玉県山西省文化交流使節団（20名）が太鼓公演などの交流事業を行った。
- 2003（平成15）年3月 交流事業合意書（2003-2005年）等に調印。
- 2003（平成15）年4月 SARS発生について、知事から りゅうしんか 劉振華省長あてに見舞状送付。
- 2003（平成15）年5月 知事から省長あてに見舞状とともに、SARS対策用の支援物資（防護服300枚、マスク15,000枚）を送付。
- 2003（平成15）年10月 山西省文化交流使節団（21名）が来県し、公演のほか、知事表敬訪問などを行った。
- 2003（平成15）年12月 ちやうしやうきん 張少琴 副省長が来県し、知事を表敬訪問したほか、伊奈学園中・高、埼玉大学などの視察を行った。
- 2004（平成16）年11月 そうほくさん 宋北杉副省長が来県し、知事を表敬訪問した。
- 2005（平成17）年12月 りぎよくしん 李玉臻 高級人民法院院長が来県し、知事を表敬訪問した。
- 2006（平成18）年4月 うようぐん 知事が山西省を訪問し、于幼軍 省長と かくきしゆん 郭貴春 山西大学学長を表敬訪問したほか、埼玉の森建設第3回植樹祭に参加した。
- 2006（平成18）年5月 交流事業合意書（2006-08）等に調印
- 2007（平成19）年5月 こそへい 胡蘇平副省長が来県し知事の表敬訪問後、県立がんセンターを訪問した。
- 2007（平成19）年8月 山西大学への奨学生派遣事業を開始した。（継続中）
- 2009（平成21）年10月 知事が山西省を訪問した。
ちやうほうじゆん 張宝順 中国共産党山西省委員会書記、おうくん 王君 省長と今後の更なる交流の推進について意見交換し、王君省長との間で「埼玉県と山西省との交流・協力に関する合意書」の署名、交換を行った。
経済環境の変化、環境問題の現状を踏まえ、「経済セミナー」や「ビジネス交流会」を開催した。
環境保護庁幹部との意見交換を行い、民間を含めた環境改善や技術交流について両県省間で合意が図られた。
山西医科大学を訪問し、大学幹部と会談するとともに、同大学と埼玉県立大学との学術交流協定の締結に立ち会った。
- 2009（平成21）年11月 おうもりん 王茂林 山西医科大学共産党書記ら「山西省・山西医科大学訪問団」6名が来県し、知事を表敬訪問するとともに、学術交流の具体策について埼玉県立大学と協議を行った。
- 2010（平成22）年2月 環境科学研究院長、環境保護庁職員ら5名が来県し、環境政策について意見交換を行った。

- 2010（平成22）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学への奨学生受入れ事業を開始し、奨学生が県知事を表敬訪問した。
- 2010（平成22）年7月 埼玉国際ジュニアサッカー大会2010を開催し、山西省選抜チーム（小学生）を受け入れた。
- 2010（平成22）年9月 2010年中国国際友好都市大会（開催地：上海）にて、本県と山西省とのこれまでの交流が評価され、中国人民対外友好協会・中国国際友好都市連合会から「対華友好都市交流協力賞」が授与された。
- 2010（平成22）年10月 山西医科大学副学長ら「山西医科大学訪問団」5名が来県し、学术交流の具体策について埼玉県立大学と協議を行った。
- 2010（平成22）年11月 山西省における環境ビジネスニーズを調査するために、環境部、企業局、下水道局職員及び民間専門家（計14名）が、山西省を訪問した。
- 2011（平成23）年9月 埼玉県立大学学長ほか2名が山西医科大学を訪問し、今後の交流について協議を行った。
- 2012（平成24）年2月 えんじゆんせい 袁純清 中国共産党山西省委員会書記が来県した。
- 2012（平成24）年5月 ぎゆうじんりょう 牛仁亮 副省長が来県し、知事を表敬訪問した。
- 2012（平成24）年6月 環境保護庁副庁長ら10名が来県し、人的交流の拡大、研究交流の推進について協議を行った。
- 2015（平成27）年11月 山西省の高校生100名が外務省の交流事業で来県した。
- 2016（平成28）年6月 外事僑務弁公室副主任ら5名が来県し今後の交流について協議を行った。
- 2017（平成29）年8月 山西省社会科学界連合会常務副主席ら2名が来県し、県の伝統工芸や文化財の保護や観光について視察を行った。
- 山西省発展研究センター主任ら4名、朔州市副市長ら2名、晋城市副市長ら2名、臨汾市外事僑務弁公室副主任ら2名の合計10名が来県し、副知事のほか、川口市と富士見市を表敬訪問した。
- 2017（平成29）年11月 山西省の大学生50名が外務省の交流事業で来県した。
- 2018（平成30）年6月 外事僑務弁公室副主任ら2名が来県し今後の交流について協議を行った。
- 2018（平成30）年10月 えいしょうしゆん 衛小春 山西省人民代表大会副主任他12名が来県した。
- 副知事を表敬訪問したほか、県立小児医療センター、道の駅「庄和」、県立大学の視察を行った。
- 2019（平成31）年1月 商務庁 かん しゆんりん 韓春霖 庁長ほか5名が来県し、今後の交流について協議を行ったほか、エネルギー環境課、観光課との打合せを行った。産業振興公社、環境整備センター、熊谷ラグビー場、自動車解体業者を視察したのち、部長へ表敬訪問した。
- 2019（令和元）年6月 外事弁公室副主任ら4名が来県し今後の交流について協議を行ったほか、埼玉県日中友好協会との打合せを行った。

- 2019（令和元）年7月 外事弁公室武主任ら2名が来県し、省長を団長とする訪問団の来県について協議を行ったほか、視察先の下見を行った。
- 2019（令和元）年8月 樓陽生^{ろうようせい} 山西省長他11名が来県した。知事を表敬訪問し、埼玉会館で開催された「山西省と埼玉県との友好交流写真展」を知事と観覧したのち、さいたま市桜環境センター、さいたま市大宮盆栽美術館を視察した。知事、副議長、県議会日中議員連盟幹事長が都内で開催された「中国（山西省）と日本の経済・貿易・文化交流懇談会」に出席した。
- 2020（令和2）年2月 知事から省長あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（マスク15,000枚）を寄贈した。
- 2020（令和2）年4月 山西省長から知事あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（防護服1,000枚、マスク20,000枚）が寄贈された。
- 2020（令和2）年6月 山西省長から知事あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（マスク20,000枚）が寄贈された。
- 2021（令和3）年12月 （公財）日中友好会館が主催する事業を通じて、防災・環境の観点から日中大学生のオンライン交流を実施した。
- 2022（令和4）年10月 埼玉県山西省友好提携40周年を記念して、文化（書道）・高齢者福祉・環境の分野でオンライン交流を実施した。
- 2023（令和5）年9月 呉偉^{ごい}常務副省長他8名が来県、知事と議長を表敬訪問し、今後の交流について意見交換した。
- 2023（令和5）年10月 県民生活部長ら職員が山西省を訪問した。外事弁公室主任に知事と議長の省長あての親書を渡し、会談した。県立不動岡高校と山西省の太原市外国語学校の生徒が自国の文化等を紹介しあうオンライン交流を実施した。
- 2023（令和5）年12月 山西省地質調査局長他8名が来県し、県河川砂防課と相互に地質災害の予防と対策について発表し、意見交換した。

※地名、職名等は当時のものです。

山西省との主な交流事業

1 医療衛生交流（保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当）

（1）研修員の受入れ【1984年度～・計107名】

県内の機関で研修員受入れを実施（期間：1.5～6ヶ月）。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響等で受入れを中止している

（過去の受入機関：県立がんセンター、県立小児医療センター、県立衛生研究所、県立県民健康福祉村、埼玉医科大学付属病院、埼玉医科大学総合医療センター、県立循環器・呼吸器病センターほか）

（各年度の受入状況）

年 度	受入機関	人数・期間
1984(S59)～ 1999(H11)年度	県立がんセンター	43名・3～6か月間
	県立小児医療センター	14名・3か月間
	県立衛生研究所	14名・3か月間
2000(H12)年度	県立がんセンター	2名・4か月間
	県立小児医療センター	1名・3か月間
2001(H13)年度	県立がんセンター	2名・6か月間
	県立衛生研究所	1名・3か月間
2002(H14)年度	県立がんセンター	1名・3か月間
	埼玉医科大学附属病院(毛呂山)	1名・3か月間
	埼玉医科大学総合医療センター(川越)	1名・3か月間
2004(H16)年度 ～05(H17)年度	県立衛生研究所	1名・3か月間
	県立県民健康福祉村他	1名・3か月間
2005(H17)年度	県立がんセンター	1名・3か月間
	県立衛生研究所	1名・3か月間
	県立県民健康福祉村他	1名・3か月間
2006(H18)年度	県立がんセンター	1名・2か月間
	県立小児医療センター	1名・2か月間
	県立衛生研究所	1名・2か月間
2007(H19)年度	県立がんセンター	1名・3か月間
	県立衛生研究所	1名・3か月間
	県立衛生研究所	1名・3か月間
2008(H20)年度	県立小児医療センター	1名・3か月間
	県立衛生研究所	1名・3か月間
2009(H21)年度	県立がんセンター	1名・2か月間 1名・4.5か月間
	県立衛生研究所	1名・2か月間
2010(H22)年度	県立がんセンター	1名・3か月間
	県立小児医療センター	1名・3か月間
	埼玉医科大学付属病院	
2011(H23)年度	県立小児医療センター	1名・3か月間
2012(H24)年度	県立小児医療センター	1名・3か月間
2013(H25)年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
2014(H26)年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
2015(H27)年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
	県立がんセンター	1名・1.5か月間

2016(H28)年度	県立がんセンター	1名・2か月間
2017(H29)年度	県立小児医療センター	1名・2か月間
2018(H30)年度	県立がんセンター	1名・2か月間
2019(R1)年度	県立循環器・呼吸器病センター	1名・2か月間

(2) 県職員の派遣【1984～2002年度】

埼玉県の医療関係職員を派遣し、講演等を実施。

2 環境保全交流（環境科学国際センター 研究企画室）

(1) 研修員・共同研究者の受入れ【1991年度～・計141名】

1991年度に山西省から環境保護視察団が来県した。翌年の両県省10周年記念事業で環境保全事業に取り組むことで合意したことを契機に、県内の機関で研修員等受入を実施。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で受入れを中止している。

(各年度の受入状況)

年度	内容
1991	山西省から環境保護視察団が来県
1992	両県省10周年記念事業を契機に環境保全事業に本格的に取り組むことで合意
1994～1999	公害センター及び下水道事務所で研修生を受入れ (各年度各機関1名・計2名・3か月間)
1994～2010	環境保全技術研修員を環境科学国際センターで受入れ（各年度1名・2か月間）
2010	山西農業大学から共同研究者4名を受入（11月～12月）
2011～	環境保全技術研修員を環境科学国際センターで受入れ（各年度2名・1か月）
2011	・山西省生態環境研究中心から共同研究者を受入れ（3名・11月） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（2名・11月） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（3名・2月）
2012	・山西農業大学から研修員を受入れ（1名・7月～10月） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（1名・2月／4名・3月） ・山西省生態環境研究中心から共同研究者を受入れ（3名・2月） ・山西省太原市から共同研究者を受入れ（1名・2月）
2013	・山西農業大学から研修員を受入れ（1名・8月～11月） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（3名・10月～11月／2名・11月） ・山西省生態環境研究中心から共同研究者を受入（4名・11月） ・水環境保全モデル事業による技術研修生を山西省生態環境研究中心から4名、晋城市環境局から1名受入れ（10月）
2014	・水環境保全モデル事業による技術研修生を山西省生態環境研究中心から受入れ（5名・11月） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（4名・1月）
2015	・山西省環境企画院から研修員を受入れ（4名） ・山西省生態環境研究中心から共同研究者を受入れ（7名）

2016	<ul style="list-style-type: none"> ・山西省生態環境研究中心から研究者を受入れ（5名） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（5名）
2017	<ul style="list-style-type: none"> ・山西省生態環境研究中心から研究者を受入れ（5名） ・山西省大同市環境保全局から研修員を受入れ（3名） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（6名）
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全研修員を受入れ（2名） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（6名）
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全研修員を受入れ（2名） ・山西省環境保全技術研修員（山西省生態環境庁）を受入れ（2名） ・山西農業大学から共同研究者を受入れ（2名）

(2) 研究員の派遣【2008年度～・計124名】

2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で派遣を中止している。

(各年度の派遣状況)

年度	内容
2008 ～2009	<ul style="list-style-type: none"> ・山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等（のべ9名・3回）
2010	<ul style="list-style-type: none"> ・山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等（のべ6名・2回） ・山西省生態環境研究中心と研究交流協定締結（3名） ・県と民間専門家による調査チームを編成し、現地視察や現地企業との交流を通じて環境ビジネスのニーズ調査を実施（のべ14名・1回）
2011	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等（のべ7名・2回）
2012	<ul style="list-style-type: none"> ・山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等（2名・1回） ・JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等（3名・1回） ・水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に水質汚染の防止・水生態系の修復支援 等（4名・1回）
2013	<ul style="list-style-type: none"> ・山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等（のべ5名・2回） ・JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等（のべ7名・2回） ・水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に水質汚染の防止・水生態系の修復支援 等（のべ9名・2回）
2014	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に水質汚染の防止・水生態系の修復支援 等（のべ8名・2回） ・大気汚染対策分野における都市間連携事業に係る山西省環境保護庁との協議（2名）
2015	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に水質汚染の防止・水生態系の修復支援 等（のべ8名・2回） ・大気汚染対策分野における都市間連携事業に係る山西省環境保護庁との協議（1名） ・持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（のべ7名・2回）

2016	・ 持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（のべ7名・2回）
2017	・ 持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（のべ8名・2回） ・ 土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等（4名・1回）
2018	・ 持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（のべ8名・2回） ・ 土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等（2名・1回）

3 山西大学奨学生派遣事業（国際課 国際連携担当）

山西大学への奨学生を派遣。

【2007年度～・50名（うち6名はオンライン授業を受講）】

（各年度の派遣状況）

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数	5	5	5	2	3	6	1	2	1	0	6
年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023					
人数	3	3	0	5※	1※	2					

※2021、2022年度は山西大学のオンライン授業を受講

4 山西省からの奨学生受入事業（埼玉県立大学）

埼玉県立大学で山西医科大学の学生の受入れを実施。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で受入を中止している。【2010年度～・67名】

（各年度の受入状況）

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
人数	5	5	2	8	8	8	8	8	7	8

5 その他オンライン交流（国際課ほか）

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、各分野においてオンライン交流を実施。

【2021年度～】

年度	内容
2021	日中オンライン大学生交流を実施した。（日中大学生合計31名） （公財）日中友好会館が主催する事業に参加し、防災・環境の観点から日中大学生のオンライン交流を実施した。

2022	<p>友好提携40周年記念オンライン交流を各分野で実施した。</p> <p>①青少年環境交流 県省の小学生が自己紹介や学校紹介、地域の環境問題について発表した。</p> <p>②文化（書道）交流 埼玉県書道人連盟と山西省文学芸術界連合会及び山西省書道家協会がそれぞれの書道を紹介した。代表者が揮毫（※）し、作品を紹介した。 ※その場で書をしたためること</p> <p>③高齢者福祉交流 埼玉県立大学と太原科技大学の学生に対してオンラインセミナーを実施した。セミナーでは県省の高齢者福祉担当者がそれぞれの現状について発表し、また、学生が大学の取組について紹介した。加えて、県内の特別養護老人ホームのオンラインツアーを行った。</p>
2023	<p>日中オンライン高校生交流を実施した。</p> <p>県立不動岡高校と山西省の太原市外国語学校の生徒が自国の文化等を紹介しあうオンライン交流を実施した。</p>

その他過去に実施した交流事業

1 経済協力交流（企業立地課 総務・国際経済担当）

- (1) 経済協力促進共同委員会（SASEC）の開催【1987～2009年度・計17回】
 経済協力事業について協議を行うことを目的に、産業界及び県庁職員を構成員として1986年度に設立。
- (2) 技術者交流
- ① 産業技術研修生の受入れ【1990～1993年度】
 - ② 生産管理診断・指導員の派遣【1994～2005年度】

2 農業交流（農業支援課）

- (1) 研修員の受入れ
- ① 農業分野研修員【1985～1999年度・100名】
 農業大学校や畜産試験場等で研修員を6か月間受け入れた
 - ② アルカリ土壌改良事業【2000～2007年度・21名】
 農林総合研究センターでアルカリ土壌改良共同研究を実施した。
 （2000～2004年度はJICA補助事業）
- (2) 専門家の派遣
- ① 農業専門家派遣【1990～1996年度】
 試験研究機関の研究員を毎年3か月間派遣した。
 - ② 土壌専門家派遣（JICA補助事業）【2000～2004年度】
 アルカリ土壌改良共同研究のため、土壌の専門家を派遣した。

3 文化交流（文化振興課ほか）

(1) 交流使節団等の受入れ（文化振興課）

年度	訪問者	内容
1985	山西省歌劇団・52名	県内3会場で公演
1991	山西省青年雑技芸術団・18名	「さいたま国際フレンドシップ芸能音楽祭」で公演
1994	山西省文化交流使節団・32名	県内3会場で公演
1997	山西省文化交流使節団・18名	・埼玉会館で展示会を開催 ・埼玉県書道人連盟、埼玉県美術家協会ほか文化関係者との交流会を実施
2000	子ども舞踊団・23名	公演及び子ども・青少年との交流会を実施
2003	子ども舞踊・21名	公演及び子ども・青少年との交流会を実施

(2) 交流使節団等の受入れ（その他）

年度	訪問者	内容
2007	山西省京劇院・25名	友好県省提携25周年を記念して県内5会場で公演 主催：財団法人日本青少年文化センター主催 後援：埼玉県ほか
2012	山西省太原市民間芸術団・35名	友好県省締結30周年を記念してさいたま市内で演奏会 主催：埼玉県日中友好協会 後援：埼玉県・山西省人民政府ほか

(3) 交流使節団等の派遣（文化振興課）

年度	訪問者	内容
1984	埼玉県民舞踊団・43名	太原市で公演 （日本舞踊・日本の民謡民舞・軽音楽の演奏）
1992	埼玉県山西省文化交流使節団・32名	友好県省提携10周年を記念し現代舞踊公演などの各種交流事業を行った。
1996	埼玉県山西省文化交流使節団・29名	親善公演（2回）及び省内文化関係者との交流事業を行った。（ジャズダンスが中心）
1999	埼玉県山西省文化交流使節団・18名	・展示会等の開催 ・文化関係者との交流会の実施 （いけばなと茶道の文化団体が中心）
2002	文化交流使節団・20名 （高野右吉と秩父社中、武州彩鼓会）	友好県省締結20周年を記念し太鼓公演や交流会等を行った。

4 スポーツ交流（青少年課 国際ジュニアサッカー大会担当）

埼玉国際ジュニアサッカー大会で山西省選抜チーム（小学校）を受け入れた。
（2004、2006、2010年度）

5 自治体職員交流（国際課 国際交流・協力担当）

自治体職員協力交流研修員を受け入れ、県内で研修を実施した。

年度	訪問者	内容
2005	研修員（統計行政）	埼玉県総務部統計課で研修（6か月）
2006	研修員（社会保障・福祉）	県立大学、福祉部ほかで研修（6か月）
2007	研修員（日本語教育）	日本語国際センター、和光国際高校で研修（6か月）

6 JETプログラム（高校教育指導課 教育指導担当）

JETプログラムによる語学指導助手（中国語）を受け入れた。

年度	所属
2009	県立和光国際高校（1年間）
2010	県立和光国際高校（1年間）
2011	県立和光国際高校（1年間）

山西省との近年の交流事業実施状況

交流項目	交流事業内容（担当課等）	派遣	受入	その他	備考
環境技術交流	・ 環境保全技術研修員の受入 （環境科学国際センター）		○		H30（2名・1か月） R1（2名・1か月）
	・ 山西省環境保全技術研修員受入 （環境科学国際センター）		○		R1 （山西省生態環境庁2名）
	・ 山西農業大学との共同研究者受入 （環境科学国際センター）		○		H30（6名） R1（2名）
	・ 持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（環境科学国際センター）	○			H30（のべ8名、2回）
	・ 土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等（環境科学国際センター）	○			H30（のべ2名）
保健医療交流	・ 医療衛生技術者の受入れ（保健医療政策課）		○		H30（医師1名・2か月 県立がんセンター） R1（医師1名・2か月 県立循環器・呼吸器病 センター）
	・ 山西医科大学から奨学生の受入 （埼玉県立大学）		○		H30（7名・4月～2月） R1（8名・4月～2月）
教育交流	・ 山西大学への奨学生派遣（国際課）	○			H30（3名） R1（3名） R3（5名・オンライン） R4（1名・オンライン） R5（2名）
	・ 日中オンライン大学生交流（国際課）			○	R3（日中合計31名）
	・ 日中オンライン高校生交流（国際課）			○	R5（日中合計16名）

周年事業	・友好提携40周年記念オンライン交流 (国際課)			○	R 4 ①文化（書道）交流 （20名・オンライン） ②高齢者福祉交流 （30名・オンライン） ③青少年環境交流 （15名・オンライン）
------	-----------------------------	--	--	---	---

関係機関一覧

機 関 名	連 絡 先
山西省人民政府 外事弁公室 Foreign Affairs Office of the People's Government of Shanxi Province, People's Republic of China	〒030001 山西省太原市迎澤大街 366号 (366 Yingze Street, Taiyuan, Shanxi Province) TEL (86) 351-403-1583 https://wsb.shanxi.gov.cn/
中華人民共和国駐日本大使館 Embassy of the People's Republic of China in Japan	〒106-0046 東京都港区元麻布3-4-33 TEL 03-3403-3388 http://jp.china-embassy.gov.cn/
外務省アジア大洋州局中国・ モンゴル第一課	〒100-8919 東京都千代田区霞ヶ関2-1-1 TEL 03-3580-3311 http://www.mofa.go.jp/mofaj/ (外務省ホムページ)
在中華人民共和国日本大使館 People's Republic of China Embassy of Japan	〒100600 北京市朝陽区亮馬橋東街1号 (No. 1 Liangmaqiao Dongjie, Chaoyang District, Beijing, People's Republic of China) TEL (86) 10-8531-9800 FAX (86) 10-6532-7081 http://www.cn.emb-japan.go.jp/index_j.htm
特定非営利活動法人 埼玉県日本中国友好協会	〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目285 てらこやラボ新都心3号室 TEL 048-782-8049 FAX 048-782-8149 http://www.jcfa-saitama-or.jp/
埼玉県県民生活部国際課	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL 048-830-2713 FAX 048-830-4748 http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306

山西省との交流の概要

令和6年3月

発行：埼玉県県民生活部国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748

E-mail : a2705-09@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306>